

「アタマにイイこと 実験中！」

豊丸産業株式会社

“For yourself, by yourself, enjoy yourself!”

未来事業室では、「トレパチ！」の持つトレーニング要素が、認知症の予防や認知機能の維持・向上にどのように作用するのか、この2月より名古屋市内の複数の老人福祉施設にて検証活動を開始しています。

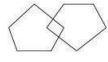
具体的な取り組みとして、被験者（＝利用者様）に「トレパチ！」を遊技していただき、遊技頻度を記録する一方で、定期的に認知レベルの測定を行い、その推移や傾向・影響の度合いなどを調査しています。

特別養護老人施設では、世界的に広く使われている認知症スクリーニング検査キット「MMSE」を、デイサービス施設では、全国の自治体で多く取り入れられている集団認知機能検査キット「ファイブ・コグ」を用いるなど、被験者の健康状態に合わせて難易度の異なる検査を行うことで、検証の精度を高めるだけでなく、「トレパチ！」遊技がもっとも効果的に作用する対象層（＝介護レベル）の見極めにも挑戦しています。

また、職員様のご協力のもと、目視確認による状況調査を並行して実施しており、被験者の生活スタイルや行動の変化など、数値では表すことが難しいものの、実際の福祉現場にとっては重要と思われる事項についても調査研究を行っています。



検証活動の様子（特別養護老人ホーム なごやかハウス神宮寺）

5. MMSE (Mini-Mental State Examination) の検査について				
1) 検査方法 Folstein氏法に基づき、精神状態 (Mental state) の臨床評価の簡略版です。通常、静かな部屋や場所 で実施します。原則として、質問は設問1から始めます (流石から質問することも可能ですが、その場合でも、 設問3から設問5までは続けて実施してください)。なお、途中で短い休憩を入れることは問題ありません。				
表 Mini-Mental State Examination (MMSE)				
設問	質問内容	回答	得点	
1 (5点)	今年は何年ですか	年	0 1	
	今月は何月ですか	月	0 1	
	今日は何曜日ですか	曜日	0 1	
	今日は何月何日ですか	月 日	0 1	
2 (5点)	この病院の名前は何ですか	病院	0 1	
	ここは何市ですか	市	0 1	
	ここは何県ですか	県	0 1	
	ここは何地方ですか	地方	0 1	
3 (3点)	物品名3個 (紙、鉛、電車) 《1秒間に1個ずつ言う。その後、被験者に繰り返しさせる。正答1個につき1点を与える。3個全て言うまで繰り返す (6回まで)》		0 1 2 3	
4 (5点)	100から順に7を引く (5回まで)。		0 1 2 3 4 5	
5 (3点)	設問3で提示した物品名を再度復唱させる		0 1 2 3	
6 (2点)	《時計を見せながら》これは何ですか 《絵紙を見せながら》これは何ですか		0 1 0 1	
7 (1点)	次の文章を繰り返し返す 「みなで、力を合わせて橋を引きます」		0 1	
8 (3点)	《3段階の命令》 「右手にこの紙を持ってください」 「それを半分に折りたたんでください」 「それを私に渡してください」		0 1 0 1 0 1	
9 (1点)	《次の文章を読んで、その指示に従ってください》 「右手をあげなさい」		0 1	
10 (1点)	《何か文章を書いて下さい》		0 1	
11 (1点)	《次の図形を書いて下さい》		0 1	
			得点合計	
 ← (重なり合う五角形です) →				
(Folstein MF et al. J Psychiat Res 12: 129, 1975)				
- 27 -				

認知症スクリーニング検査キット「MMSE」

「カラダにイイこと 実験中！」

豊丸産業株式会社

“For yourself, by yourself, enjoy yourself!”

適度な運動は、身体だけでなく脳にもほどよい刺激を与えることが医学的に立証されており、認知症予防にはウォーキングや軽いジョギング、サイクリングやエアロバイクといった有酸素運動が効果的と言われています。

大切なのは「高い頻度で継続する」こと。強い運動を週1回やるよりも、20～30分程度の運動を週3～4回行う方がよく、可能であれば毎日行うのが理想ですが、意志が強くないとなかなか続かないのも現実です。

ほとんどの場合、加齢による肉体的な衰えは「足」から始まります。足の衰えは行動の衰え、行動量の低下が「寝たきり」や「認知症」を誘発する大きな要因の一つであることは広く知られており、弊社「トレパチ！」にご興味をお持ちいただいた関係者様からも、「運動機能も搭載してほしい」という要望が多く寄せられています。

未来事業室では、脚部の鍛錬を主とする運動器具を「トレパチ！」とドッキングすることで、「楽しみながら」「カラダとアタマの健康維持を」「長期間にわたって日常的に」行っていただけるのではないかと考えており、その実現に向けた試作研究を日々行っています。



「ウォーキングマシン」(歩行)



「エアロバイク」(自転車こぎ)



「ステッパー」(足踏み)